

# 株式会社チヨダ

## 2018年2月期 決算説明会

### 〈登壇者〉

代表取締役社長

舟橋浩司

専務取締役

田木 敬

取締役 商品統括部長

西堀史郎

広報・IR室長

井上裕一郎

---

2018年4月25日

コンファレンススクエア エムプラス(グランド)

三菱ビル 10階

－ 第1部 －

2018年2月期 経営状況の報告

広報IR室長

井上裕一郎

－ 第2部 －

2019年2月期の取組みについて

代表取締役社長

舟橋 浩司

質疑応答

司会 スポーツ&レディース統括部

根本 麗

## 連結PLの概要・要因

## 減収・最終増益

単位：億円

	17/2月期 実績	18/2月期 期初計画	18/2月期 実績	前年同期比
売上高 (売上比)	1,370 (100.0)	1,360 (100.0)	1,276 (100.0)	93.2
売上総利益 (売上比)	664 (48.5)	667 (49.0)	636 (49.9)	95.8
販管費 (売上比)	587 (42.9)	582 (42.8)	575 (45.1)	98.0
営業利益 (売上比)	77 (5.6)	84 (6.2)	61 (4.8)	79.3
経常利益 (売上比)	81 (5.9)	86 (6.3)	65 (5.2)	81.0
当期純利益 (売上比)	42 (3.1)	49 (3.7)	46 (3.6)	108.1
1株当たり当期 純利益(円銭)	114.56	132.19	125.87	109.9

## ➤減収・最終増益

➤売上総利益、前年同期比27億円減。販管費11億円減

➤営業利益、前年同期比15億円減も当期純利益3億円増

## 単体：減収・最終増益

単位：億円

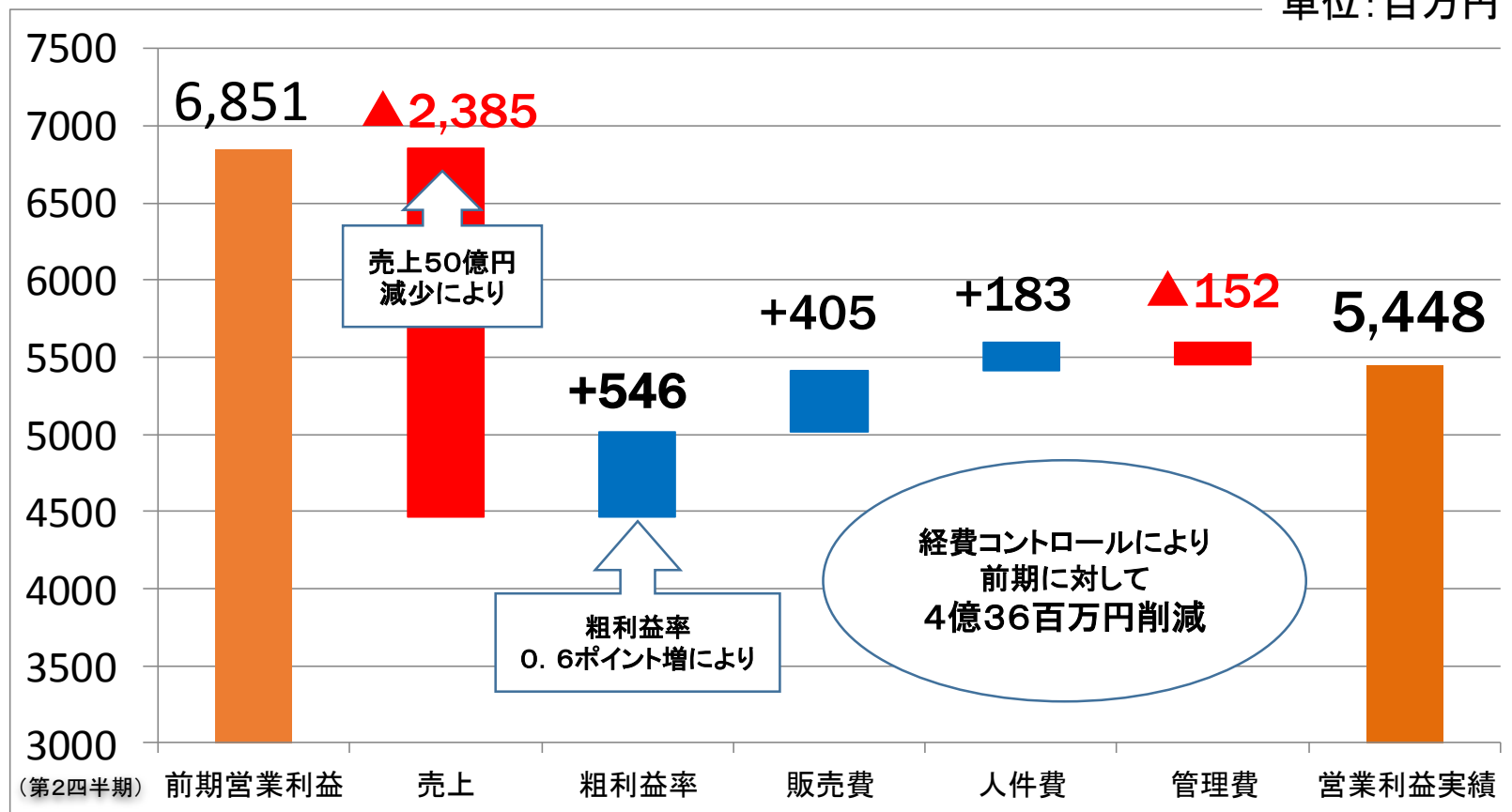
	17/2月期 実績	18/2月期 期初計画	18/2月期 実績	前年同期比
売上高 (売上比)	1,005 (100.0)	1,005 (100.0)	955 (100.0)	95.0
売上総利益 (売上比)	475 (47.2)	479 (47.7)	456 (47.8)	96.1
販管費 (売上比)	406 (40.4)	404 (40.2)	402 (42.1)	98.9
営業利益 (売上比)	68 (6.8)	75 (7.5)	54 (5.7)	79.5
経常利益 (売上比)	77 (7.7)	82 (8.2)	63 (6.7)	82.4
通期純利益 (売上比)	43 (4.3)	52 (5.3)	48 (5.1)	112.4

- 粗利益率、前年同期比0.6ポイントアップの47.8%
- 販管費、前年同期比4億円減。402億円
- 営業利益、前年同期比14億円減。
- 通期純利益、前年同期比5億円増

## 単体決算概要

### 「2018年2月期の総括」(前期との比較)

単位: 百万円



- (1) 売上高50億円減少により、利益額23億円減少
- (2) 粗利益率0.6ポイント増加により、利益額5億円増加
- (3) 経費コントロールにより、前期に対し4億円削減

# 【連結】BSの概要・要因

## Consolidated Balance Sheet

	17/2月期末		18/2月期末		比較 増減額	コメント
(億円：%)		構成比		構成比		
流動資産	<b>866</b>	<b>68.4</b>	<b>823</b>	<b>67.1</b>	<b>▲42</b>	
現・預金	<b>448</b>	<b>35.4</b>	<b>425</b>	<b>34.6</b>	<b>▲22</b>	
受取手形・売掛金	<b>21</b>	<b>1.7</b>	<b>20</b>	<b>1.7</b>	<b>▲0</b>	
商品	<b>373</b>	<b>29.5</b>	<b>352</b>	<b>28.7</b>	<b>▲21</b>	
固定資産	<b>399</b>	<b>31.6</b>	<b>404</b>	<b>32.9</b>	<b>4</b>	
リース資産(純額)	<b>4</b>	<b>0.4</b>	<b>14</b>	<b>1.2</b>	<b>9</b>	
敷金及び保証金	<b>142</b>	<b>11.3</b>	<b>135</b>	<b>11.0</b>	<b>▲7</b>	
資産合計	<b>1,265</b>	<b>100.0</b>	<b>1,228</b>	<b>100.0</b>	<b>▲37</b>	
流動負債	<b>333</b>	<b>26.4</b>	<b>274</b>	<b>22.4</b>	<b>▲58</b>	
固定負債	<b>115</b>	<b>9.1</b>	<b>139</b>	<b>11.3</b>	<b>23</b>	
負債合計	<b>449</b>	<b>35.5</b>	<b>414</b>	<b>33.7</b>	<b>▲35</b>	
純資産合計	<b>815</b>	<b>64.5</b>	<b>814</b>	<b>66.3</b>	<b>▲1</b>	
負債、純資産合計	<b>1,265</b>	<b>100.0</b>	<b>1,228</b>	<b>100.0</b>	<b>▲37</b>	

	17/2月期末	18/2月期末
1株当たり純資産(円)	<b>2,044.54</b>	<b>2,086.86</b>
自己資本比率(%)	<b>59.9</b>	<b>61.8</b>

# 【単体】BSの概要・要因

## Non-consolidated Balance Sheet

	17/2月期末		18/2月期末		比較 増減額	コメント
(億円:%)		構成比		構成比		
流動資産	<b>660</b>	<b>66.2</b>	<b>639</b>	<b>64.7</b>	<b>▲20</b>	
現・預金	<b>380</b>	<b>38.2</b>	<b>362</b>	<b>36.7</b>	<b>▲17</b>	
売掛金	<b>16</b>	<b>1.6</b>	<b>16</b>	<b>1.7</b>	<b>0</b>	
商品	<b>247</b>	<b>24.9</b>	<b>243</b>	<b>24.7</b>	<b>▲3</b>	
固定資産	<b>336</b>	<b>33.8</b>	<b>348</b>	<b>35.3</b>	<b>11</b>	
リース資産(純額)	<b>4</b>	<b>0.5</b>	<b>12</b>	<b>1.2</b>	<b>7</b>	
敷金及び保証金	<b>100</b>	<b>10.1</b>	<b>98</b>	<b>10.0</b>	<b>▲2</b>	
資産合計	<b>996</b>	<b>100.0</b>	<b>987</b>	<b>100.0</b>	<b>▲9</b>	
流動負債	<b>236</b>	<b>23.8</b>	<b>209</b>	<b>21.2</b>	<b>▲27</b>	
固定負債	<b>79</b>	<b>8.0</b>	<b>94</b>	<b>9.6</b>	<b>14</b>	
負債合計	<b>316</b>	<b>31.8</b>	<b>304</b>	<b>30.8</b>	<b>▲12</b>	
純資産合計	<b>680</b>	<b>68.2</b>	<b>683</b>	<b>69.2</b>	<b>3</b>	
負債、純資産合計	<b>996</b>	<b>100.0</b>	<b>987</b>	<b>100.0</b>	<b>▲9</b>	

	17/2月期末	18/2月期第2四半期
1株当たり純資産(円)	<b>1,829.23</b>	<b>1872.23</b>
自己資本比率(%)	<b>68.0</b>	<b>68.9</b>

# 【連結】キャッシュフロー・設備投資・減価償却

Consolidated Cash Flow Statement, Capital Expenditure, and Depreciation

(億円)	17/2月期末	18/2月期末	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	69	38	▲31
投資活動によるキャッシュ・フロー	25	▲7	▲32
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲54	▲54	0
現金及び現金同等物の期末残高	447	424	▲22

[キャッシュフローの状況]

営業活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 営業活動の結果得られた資金は38億円(前期比31億円減)</li> <li>● 「仕入債務の増減額」が44億円の減少(前期比20億円減)</li> </ul>
投資活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 支出:「有形固定資産の取得による支出」14億円</li> <li>● 収入:「投資有価証券の売却及び償還による収入」11億円 「定期預金の払戻による収入」がなくなったこと(前年同期43億円減)</li> </ul>
財務活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「短期借入金の返済による支出」9億円、「配当金の支払額」26億円</li> <li>● 「社債の発行による収入」11億円</li> </ul>

(億円)	17/2月期	18/2月期	増減額	前年同期比	期初計画	計画比増減額	期初計画比
設備投資	21	32	10	149.7	35	▲2	91.6
減価償却	13	15	9	114.2	15	▲0	96.8



# 【連結】 出退店状況

## Consolidated Store Openings and Closures

18/2月期末		期初店舗数	出店	退店	期末店舗数	純増数
靴事業		1,093	22	35	1,080	▲ 13
	(株) チ ヨ ダ	1,055	21	34	1,042	▲ 13
	(株) ア イ ウ オ ー ク	38	1	1	38	0
衣料品事業		433	13	36	410	▲ 23
	(株) マ ッ ク ハ ウ ス	433	13	36	410	▲ 23
グループ合計		1,526	35	71	1,490	▲ 36

※2017年9月1日付、アイウオークの38店舗をチヨダが吸収

- 出店:靴事業 22店舗(チヨダ 21店、旧アイウオーク 1店)  
衣料品事業 13店舗(マックハウス 13店) 合計35店舗
- 退店:靴事業 35店舗(チヨダ 34店、旧アイウオーク 1店)  
衣料品事業 36店舗(マックハウス 36店) 合計71店舗
- 期末店舗数は、期首より 36店減少し、1,490店舗となりました。

ご参考)

- (株)アイウオーク:SCを中心とした婦人靴専門店。2017年9月1日付チヨダが吸収
- (株)マックハウス:カジュアル衣料および雑貨の輸入・販売

# 【単体】 出退店状況

Consolidated Store Openings and Closures (*Consolidated status of Opening and Closing of Stores*)

18/2月期末			期首店舗数	出店	退店	期末店舗数	増減	
(株)	チ	ヨ	ダ	1,055	21(45)	34(7)	1,080	25
	東京靴流通センター			582	2	13	571	▲11
	シュープラザ			386	16(7)	7	402	16
	C Y ・ S P C ・ P T 他			87	3(38)	14(7)	107	20

➤ 出店は、東京靴流通センター2店、シュープラザ16店、チヨダ・SPC・PT他 3店の合計 21店舗

➤ 退店は、東京靴流通センター13店、シュープラザ7店、チヨダ・SPC・PT他14店の合計 34店舗

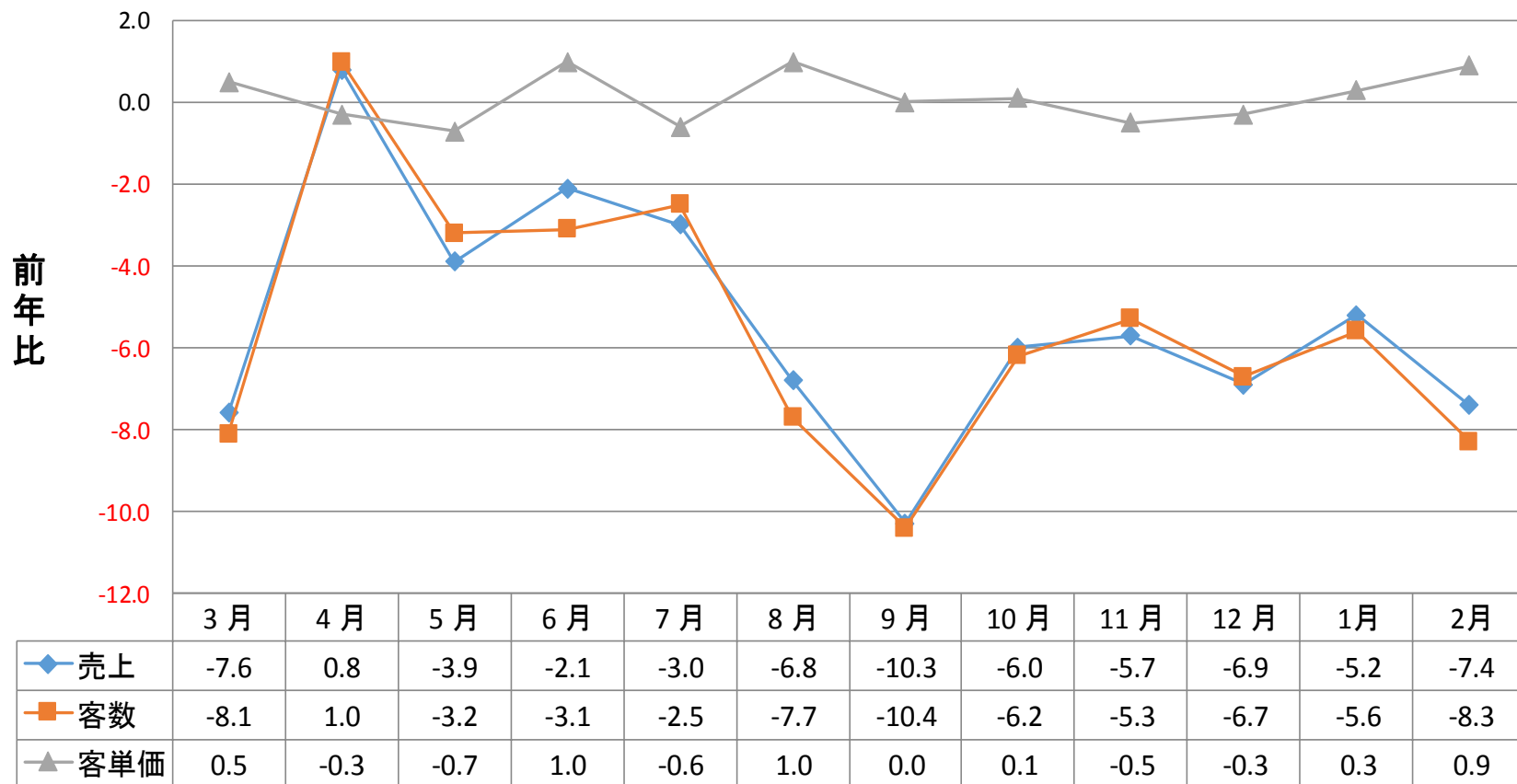
➤ 出店立地は、「中～大商圏SC、GMS(CSC/RCS)」に12店、「小商圏SC、スーパー(NSC)」に5店、「ロードサイド複合店」に3店、「駅前、商店街立地」に1店の 合計 21店舗

出店立地	店舗数
中～大商圏SC、GMS	12
小商圏SC、スーパー	5
ロードサイド複合店	3
フリースタANDING	0
駅前、商店街立地	1
合計	21

(※出店/退店の( )数値は、業態変更及び旧アイウォークの吸収店舗)

通期: 売上▲5.2 客数▲5.3 客単価 +0.1

18/2月期 通期 既存店 売上・客数・客単価推移





# 2019年2月期の取組み

代表取締役社長 舟橋 浩司

# 2019年2月期の取組み (主な内容)

1. 中期経営計画について
2. 直近業績(2018年2月期)の課題
3. 店舗展開政策
4. 商品政策
5. デジタル化推進、EC強化

# 中期経営計画 進捗状況(2017年3月～2020年中期計画)

項目	評価	主な項目の対応状況
商品政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ PBとNBのハイブリッドMD政策を継続</li> <li>○ 女性の声を聞いた商品開発の強化</li> <li>× 仕入から販売までのきめ細かく管理する仕組み、組織作り</li> </ul>	
店舗展開政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>△ 首都圏にステージアップ店を展開し、大都市周辺への出店強化</li> <li>○ ネット強化による店舗とのMD連動・情報連携の推進</li> </ul>	
人事・組織政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本社と店舗との連携強化、活発な人材の配置転換</li> <li>○ 女性主導のプロジェクトを多数立上げ</li> </ul>	

### (1) 子会社チヨダ物産(※)の中期経営計画期間中の業務統合

- |   |              |
|---|--------------|
| ① | サプライチェーンの最適化 |
| ② | 重複機能の削減      |

(※)グループの仕入、輸入、物流業務を行う子会社

### (2) テーマを明確にした改装の積極実施

- |   |                      |
|---|----------------------|
| ① | PB、グローバルブランドのプレゼンス向上 |
| ② | 女性の顧客層拡大             |



## 中期経営計画 株主還元方針

「中期経営計画期間中の目処」

- ①連結配当性向**50%**
- ②連結総還元性向**100%** ※
- ③DOE(株主資本配当率)**3.5%**

⇒今期年間配当金予想**74円**（前期+2円）

(株主還元)		2017/2期 実績	2018/2期 実績	2019/2期 予想
配当金(円)		70	72	74
	配当性向	61.1%	57.2%	57.3%
	DOE	3.5%	3.5%	3.6%
自己株式取得(百万円)		2,000	2,002	—
配当総額(百万円)		2,609	2,643	—
	総還元性向	107.3%	100.0%	—
	ROE	5.5%	6.1%	6.3%

※連結総還元性向（配当金＋自社株買い金額）／連結当期純利益

## 『グローバルブランドスニーカーの立て直し』

### 〔2018年2月期 商品カテゴリー別既存店売上前年比〕

(単位:百万円)

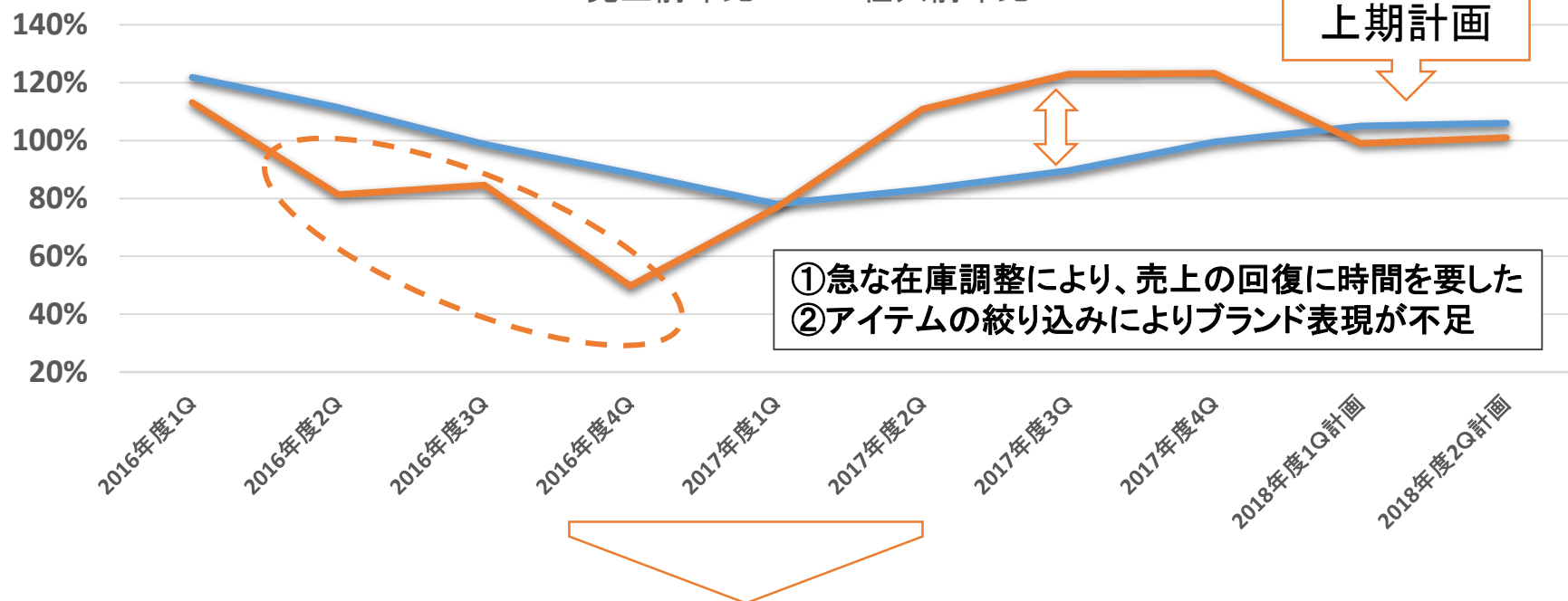
商品部門	前年比	増減額
紳士	▲2.6%	▲622
婦人	5.2%	909
子供	▲10.6%	▲1,111
ブランド スニーカー	▲13.5%	▲3,665
その他 スニーカー	▲0.6%	▲67
その他	▲6.6%	▲458
既存店計	▲5.2%	▲5,014

2018年3月度ブランドスニーカー  
既存店売上前年比: **+9.8 %**

## 『グローバルブランドスニーカーの立て直し』

【4半期別 グlobalsニーカー売上・仕入前年比】

— 売上前年比 — 仕入前年比



①ブランド別の在庫管理精度向上

②店頭でのブランド表現とレディーススニーカーの強化




## 『SMU※(当社オリジナル商品)発注強化による 競合との差別化』

【投入計画】

前期実績**85**万足 ⇒ 今期計画**100**万足(+**17.6**%)

(今期SMU投入ブランド)



( 本体価格 ¥ 6,300)

※SMU=Special make-up

# 『シュープラザ500店、東京靴流通センター600店体制 へ向けて、2大業態の出店・改装を強化』



2018年2月末全社店舗数: **1,080**店

## 『テーマ別店舗改装の強化・拡大』

改装店舗：前年比+**10%**増収計画（移動累計1年間）



### 【2019年2月期 業態別改装計画】

	全国計
シュूपラザ	<b>82 店</b>
東京靴流通センター	<b>48 店</b>
チヨダ他	<b>10 店</b>
合計	<b>140 店</b>

## 店舗展開政策 出店計画

【2018年2月期 立地タイプ別 出退店計画】

出店投資計画(単体) : **9億円**

①SC・GMS内への出店強化

②不採算店舗の積極的な閉店

(単位:店)

	2018/2末	出店	閉店	2019/2計画
中～大商圈SC、GMS	165	16	13	168
小商圈SC、スーパー	161	4	8	157
ロードサイド複合店	202	2	3	201
フリースタANDING	510	2	9	503
駅前、商店街立地	42	1	7	36
合計	<b>1,080</b>	<b>25</b>	<b>40</b>	<b>1,065</b>

## 『ブランド表現の強化(1)』

**FILA** コーナーを全店展開、改装店では特に注力  
当社オリジナル商品(準NPB商品)を多数取扱い

(フィラ3月度売上前年比**+18%**)



シュープラザパーク ららぽーと東京ベイ店(千葉)  
(売場面積 84坪)



(当社オリジナル商品 本体価格 ¥5,490)



『ブランド表現の強化(2)』

**SKECHERS** ショップインショップを展開

今期計画 **200** 店舗改装

(スケッチャーズ3月度売上前年比**+75%**)



シュープラザ 上野店(東京)  
(売場面積 75坪)



シュープラザ 新宿東口店(東京)  
(売場面積 80坪)

## 『女性MDの強化(1)』

### 〔ウェルネス〕



シュープラザ 市川ショッप्ス店(千葉)  
(売場面積 248坪)



## 『女性MDの強化(2)』 〔スニーカー通勤〕



2018年1～3月度  
全社レディース黒色スニーカー  
販売足数前年比: **+14** %

シュープラザパーク ららぽーと東京ベイ店(千葉)  
(売場面積 84坪)

## 『ミセスMDの強化、商品企画と売場の連動』

cloverleaf 38店舗のVMDを **SHOE・PLAZA** に導入中

〔美映えパンプス〕

ターゲット：ヤングミセス～ミセス（30～45歳）



クローバーリーフ ニューポートひたちなか店（茨城）  
（売場面積 30坪）



『スニーカー売上拡大と在庫鮮度改善』  
〔スニーカー アウトレットコーナー〕



シュープラザ ベイタウン本牧店(神奈川)  
(売場面積 100坪)

# 『子供靴MDの強化、ファミリー滞在型店舗への改装』 〔キッズパーク〕



シュープラザ 名古屋東店(愛知)  
(売場面積 125坪)



シュープラザ 伊勢原店(神奈川)  
(売場面積 202坪)



『フリースタANDING店舗の外装刷新』  
女性が入りやすい色へ変更

〔before〕



〔after〕



シュープラザ 久留米合川店(福岡)  
(売場面積 180坪)

## GMSへの出店強化



「シュープラザ 仙台泉アリオ店」  
(売場面積 102坪)

### マックハウスと共同出店



#### 【第1四半期出店計画：6店舗】

2018年3月	SP 仙台泉アリオ(宮城) *	2018年4月	SP 貝塚イオン(大阪) *
2018年3月	TS 大宮イオン(埼玉)	2018年5月	SP 川西西友(兵庫)
2018年4月	SP 奈良ミ・ナーラ(奈良) *	2018年5月	SP 船堀ダイエー(東京)

( \* マックハウス共同出店 )

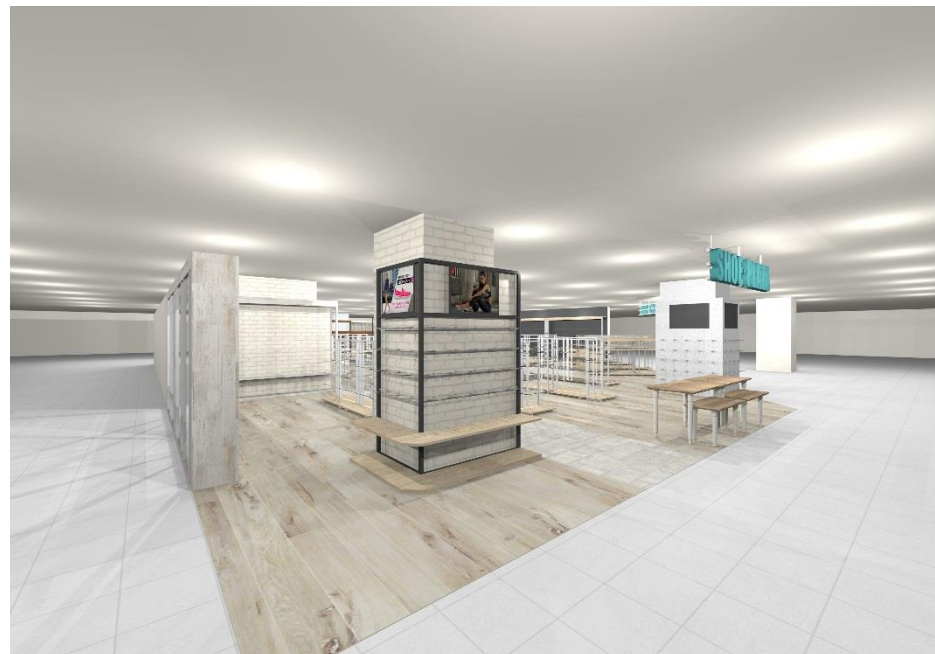


## マックハウスとの共同出店 MDのシナジーによる客数拡大



「シュープラザ 貝塚イオン店」  
(売場面積 130坪)

2018年4月27日 開店予定



「シュープラザ 奈良ミ・ナール店」  
(売場面積 109坪)

2018年4月24日 開店

## 『インバウンド対応の強化』

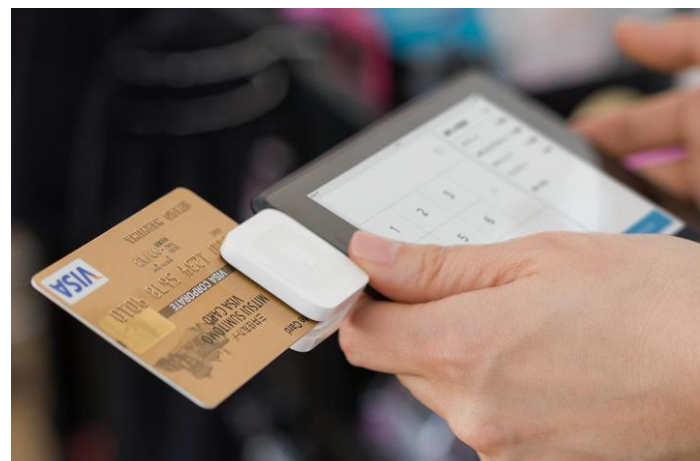
### 〔インフラの整備〕

①中国スマートフォンQRコード決済「アリペイ」「We Chatペイ」(22店舗)

②スクウェア社のタブレット型カード決済端末導入(4月～)

(初回導入店舗:9店舗)

SP吉祥寺本店、SP新宿東口、SP上野、  
TS西新宿、TS池袋西武口、TS御徒町  
TS上野アメ横、チヨダ八重洲地下街、  
チヨダ池袋東武ホープセンター



**PB・NPB構成比：今期計画41.0%（前期比+1.2pt）**

「婦人靴・スニーカーを中心にPB強化」

【PB・NPB 商品部門内販売額構成比】

2018年2月期実績

2019年2月期計画

	商品部門内 PB・NPB構成比		PB・NPB構成比 (前期比)
紳士靴	59.9%		59.9% ( +0pt)
婦人靴	52.1%		54.1% ( +2pt)
子供靴	27.4%		28.4% ( +1pt)
スニーカー	22.7%		24.7% ( +2pt)
全体	39.8%		41.0% ( +1.2pt)

## HYDRO-TECH<sup>®</sup> 年間販売計画

前期**65**万足 ⇒ 今期**69**万足 (+**6.2**%)

『シーンを選ばない快適な履き心地でリピート率向上』



(本体価格 ¥9,800)



Brio-FITTER®

年間販売計画

前期**298**万足 ⇒ 今期**310**万足(+**4.0**%)



(キレイウォーク 本体価格 ¥3,890)

『子供から大人まで、  
靴の悩みを解決することで、  
客層を拡大』



日本メンズファッション協会による、  
グッドエイジャー賞認定商品



**CEDAR CREST®** 年間販売計画

前期 **151**万足 ⇒ 今期 **161**万足(+**6.6**%)

『履きやすさをテーマに、カジュアル化を推進』

結ばない靴紐 *with Caterpy Smart Lace*



(本体価格 ¥4,990)

## 商品政策 主要PB強化方針(4)

機能性婦人パンプス **fuwaraku**® 年間販売計画

前期**30**万足 ⇒ 今期**50**万足 (+**66.7**%)

もっとラクに  
がんばれる  
パンプス   
**fuwaraku**®



21.5cm ~ 25.5cm

3,890円~  
+税





**fuwaraku®**  
カジュアルライン新展開  
(2018年3月発売)



(本体価格 ¥4,900)



## デジタル化推進

『 fuwaraku® 単独ホームページ・アプリ(4月～)を開設』

PBブランディングのデジタル化推進＋専用ECと連動



# 『インスタグラムによる事例』

## インフルエンサーや女性社員チームによるコーディネート提案 女性消費者とのコミュニケーション増加

📷 | Instagram

🔍 検索

ログイン



fuwaraku

フォローする

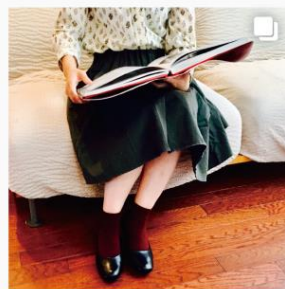
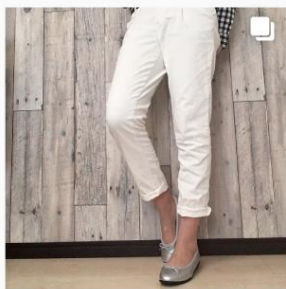
投稿95件

フォロワー402人

81人をフォロー中

fuwaraku 【もっとラクにがんばれるバンブス】働く女性のためのバンブスブランド  
「fuwaraku (フワラク)」の公式 Instagram アカウントです。

[www.chiyodagrp.co.jp/items/fuwaraku](http://www.chiyodagrp.co.jp/items/fuwaraku)



## 『東京靴流通センター アプリを新規開設』

チヨダ、シュープラザと併せて3ブランドアプリに  
認知度の高い店舗業態が加わることで、会員数拡大



東京  
靴流通  
センター



3アプリ合計MAU(マンスリーアクティブユーザー)で43万人越え

MAU:「Monthly Active Users」の略で、クーポン等を利用した月間のアクティブユーザー数

## 『EC売上拡大計画』

「前期EC売上 5.8億円 ⇒ 今期計画**8**億円 ⇒ 2020年2月期**20**億円」

(EC2018年3月度売上前年比**132**%)

幅広い客層に対応するマルチチャネル戦略の推進



YAHOO! ショッピング  
JAPAN

アマゾン

東京靴流通センター

オンラインショップ

楽天市場に出店中!

Rakuten

LOCONDO.jp

〔主要チャネルの売上拡大計画〕

amazon**Prime** (2017年11月開始)

売上計画 今期**3**億円 ⇒ 2020年2月期**8**億円

# 『ECからの店舗受取りサービス拡大』

下期に取扱店を**400**店舗(関東全エリア)まで拡大  
将来は全店舗での取り扱い計画



顧客利便性向上＋顧客接点の拡大をはかる



# 『チヨダ物流センターの機能整備・強化』 チヨダ物産の業務統合によりさらに効率化

### ①販売強化商品の週2回補充(従来週1回)

fuwaraku® を販売上位154店舗で実施中、順次拡大計画

### ②共同配送商品は、全て店舗での検品不要に・・・第1四半期～



チヨダ物流太田センター



ハンディターミナルによる仕分システム  
(2018年2月新規導入)  
⇒週2回配送拡大

# ESGの取り組み

## 『ESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組み』

### E 『LED化の推進』

**E** 2018年2月末導入済店舗:703店 ⇒ 今期末計画店舗:**800**店

『靴を下取り、処分にサーマルリサイクル(※)を活用』

年間下取り足数**330**万足(202店舗分をサーマルリサイクルへ)

### S 『ワークライフバランス実現に向けた取り組み』

- ・育児休業取得の推進
- ・本部のフレックスタイム制の導入
- ・地域限定正社員制度の導入

### G 『取締役会の実効性評価を開始』

**G** 2018年3月、外部機関により実施

(※)廃棄物を焼却処理する際に発生する熱エネルギーを利用するリサイクル方法

【2019年2月期計画】

売上高**311**億円(前期比+**0.8%**)

営業利益**4.7**億円(前期比+**117.4%**)

出店**30**店舗 退店**15**店舗 期末店舗数**425**店舗

【今期の主な政策】

「新業態(マックハウススーパーストア等)の出店加速」

「商品調達先の新規開拓による低価格・高粗利の実現」

「女性向けの雑貨、アクセサリーの展開拡大」

「モバイル会員獲得、SNSの活用による集客力の強化」

(補足資料)

## 2019年2月期 単体業績計画

既存店前年比

94.8

100.0

(単位:億円)

	18/2月期実績		19/2月期計画		前期比	
		売上比		売上比	増減額	前年比
売 上 高	955	100.0%	970	100.0%	14	101.6%
売 上 総 利 益	456	47.8%	466	48.0%	9	102.0%
販 管 費	402	42.1%	396	40.8%	▲6	98.4%
営 業 利 益	54	5.7%	70	7.2%	15	128.5%

	18/2月期実績	19/2月期計画	前期比
設 備 投 資	21	21	97%
減 価 償 却	10	12	109%

(補足資料)

## 2019年2月期 連結業績計画

(単位:億円)

	18/2月期実績		19/2月期計画		前期比	
		売上比		売上比	増減額	前年比
売上高	1,276	100.0%	1,282	100.0%	5	100.4%
売上総利益	636	49.9%	640	50.0%	3	100.6%
販管費	575	45.1%	564	44.0%	▲11	98.1%
営業利益	61	4.8%	76	5.9%	14	123.9%

	18/2月期実績	19/2月期計画	前期比
設備投資	32	32	98%
減価償却	15	16	107%





この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは、あくまでも将来の予測であり、様々なリスク及び不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がありますことを予めご承知ください。